

日本モウルド工業（株）： 環境にやさしい高品質のパッケージソリューションをアジア展開

JAPAN / PACKAGING & PRINTING / PULP & PAPER

February 10, 2021



メーカーや消費者の大半は、丈夫で安全そしてデザイン性に優れた手頃な価格の容器に満足していますが、パッケージはそれだけではありません。日本モールド工業は、環境に配慮したストーリー性と優れた生産基準を融合させ、国内外の様々な産業に向けて高品質なリサイクルパルプパッケージのソリューションを開発しています。

「私たちの物語は、紙の廃棄処理問題を解決することで、地域社会に還元し社会に貢献することです」と代表取締役社長の石原昭氏は語ります。「利益を最大化することが目的ではありません。バランスをとることなのです」。

日本モールド工業は半世紀以上にわたって、古紙を利用した耐衝撃性、耐久性、軽量性に優れた食品やテクノロジー製品の保護材、容器の開発で高い評価を得てまいりました。その短納期、リーズナブルな価格、カスタマイズ可能なオプションによって、HP、ソニー、パナソニック、三菱電機、キヤノンなど、多くの有名ブランドが日本モールド工業の製品を採用しています。

日本モールド工業はまた研究開発にも力を入れており日本で初めてパルプモールドによる新発想の冷凍食品容器を開発したほか、化粧品メーカーのプラスチック脱却を支援するための洗練された紙製パッケージなど最新の技術革新にも取り組んでいます。そのほか、撥水・耐油性に優れた医療用製品や自動車部品の緩衝材などを生産しています。

日本モールド工業は、一般企業でも成功を収めていますが、最も力を入れているのは地方自治体と協力してゴミの排出量を削減することで、持続可能な開発目標を達成することです。このような取り組みの一環で、市の廃棄された古紙をトラック回収するなど、原材料を自社で調達しています。

タイとメキシコの工場を拠点として、日本モールド工業では、持続可能な開発目標を共有する企業との協力関係を模索しており、今後も世界各地での事業展開を進めていきます。また、Eコマースや物流システム会社、卸売販売代理業者との提携も視野に入れていきます。

専務の石原雄大氏は語っています。「私たちはベトナムとフィリピンで工場を立上げ、増加するお客様の需要に応えるべく日本だけでなくアジア全体をカバーするというビジョンを実現してまいります。」

日本モールド工業株式会社ホームページ